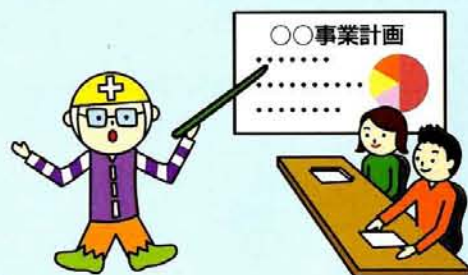


街路事業のすすめかた

街路事業は、まず事業に必要な用地を取得し、その後道路工事をを行い、供用するという順序で進めていきます。

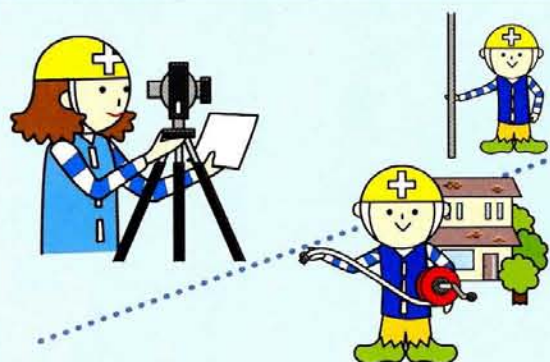
1. 事業の内容を説明します。

- 事業についてご理解いただき、ご協力をいただけるように、地域のみなさまに事業の目的や概要、すすめ方などをご説明します。



2. 土地や建物などを調査します。

- みなさまからお譲りいただく土地の面積を決めるために、現地を測量し、その土地に関する方々と土地の境界を確認します。
- 移転していただく建物などを調査します。



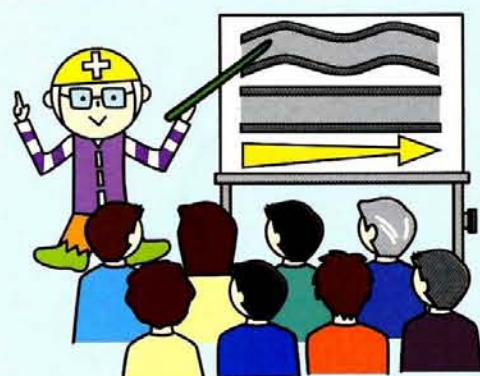
3. 補償の内容を説明します。

- 基準にもとづいて適正な補償金を算定し、土地価額や建物移転などの補償内容をご説明します。
- 補償内容、建物移転、土地の引き渡し時期などについてご了解いただき、契約します。
- 建物などを移転して土地を引き渡していただき、補償金をお支払いします。



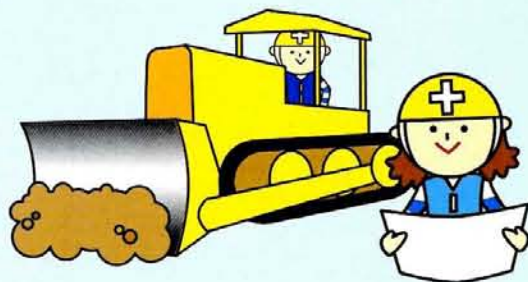
4. 工事の内容を説明します。

- 必要な用地が取得できると、道路工事を始めます。
- 事前に地域のみなさまに整備内容や工事のすすめ方などをご説明します。



5. 道路工事をします。

- 電線共同溝などの管類を地中に設置して、歩道や車道を舗装していきます。



6. 供用します。

- 道路工事が完成し、みなさまにご利用していただきます。



まちの現状

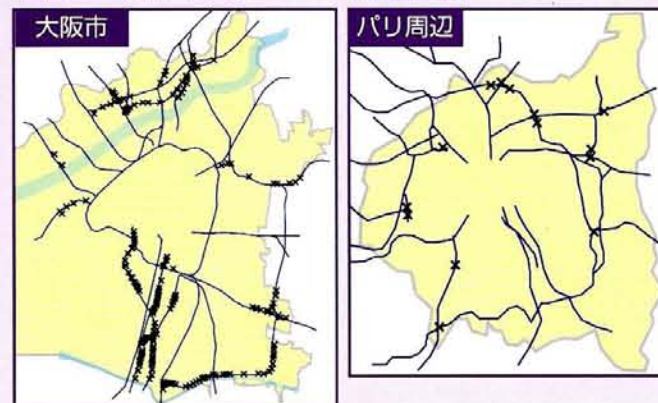


他の主要都市と比べると、様々な課題を抱えているのが分かります。多様な効果が期待できる「街路事業」を進め、まちを元気に。



踏切の数 208箇所

中心部は、地下鉄となっており、踏切がありませんが、周辺部には、多くの踏切が残っています。世界の主要都市と比べても踏切数が多くなっています。



主要都市の踏切箇所数

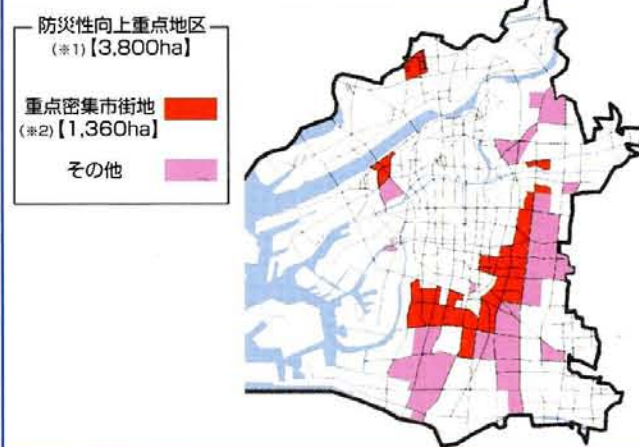
大阪市	パリ	ロンドン	ベルリン	ニューヨーク
208	14	10	46	122
(H19現在)	(H14現在)	(H17現在)	(H17現在)	(H17現在)

出典：国土交通省「道路の中期計画(素案)」より

重点密集市街地 1,360ha

JR環状線の外側の戦災を免れた地域が、老朽密集市街地として多く残っています。これらの地域は、道路が狭く、古い木造住宅が密集しており、防災面や住環境面などで多くの課題を抱えています。

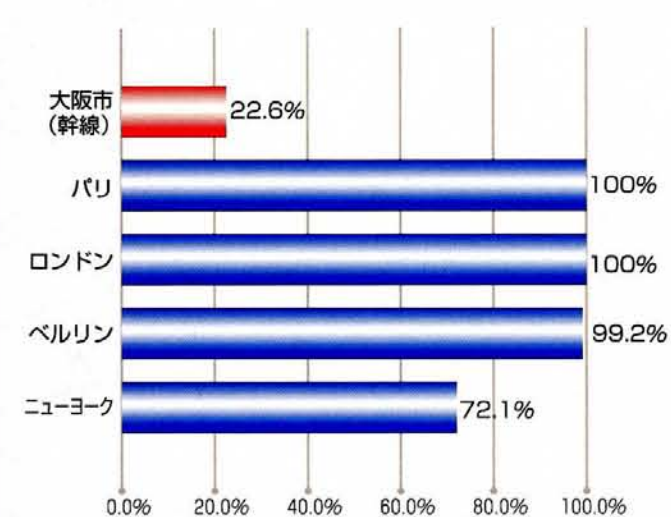
全国8,000ha。うち大阪市1,360ha(全国の約6分の1)



※1 防災性向上重点地区：防災性を向上させる必要がある地区。
 ※2 重点密集市街地：防災性向上重点地区のうち、政府の都市再生プロジェクトに位置づけられた、重点的に取り組む必要のある密集市街地。

電柱のない道路率 22.6%

道路には、多くの電柱が立っており、景観が悪く、通行のさまたげとなっています。世界の主要都市には、電柱がほとんどありません。

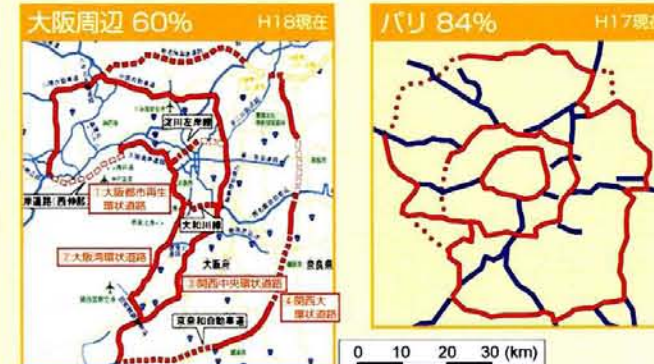


※ 海外の都市のデータは、昭和52年の状況。大阪市は、平成19年の状況。

出典：国土交通省「道路の中期計画(素案)」より

環状道路の整備率 60%

世界の主要都市に比べ、環状道路の整備が遅れています。関西の4環状道路の整備により、都市を通過する交通を排除し、渋滞緩和や環境の改善を図ります。



	大阪圏	パリ	ベルリン
計画	425km	313km	222km
完了	254km	262km	216km
整備率	60%	84%	97%



出典：国土交通省,HPより